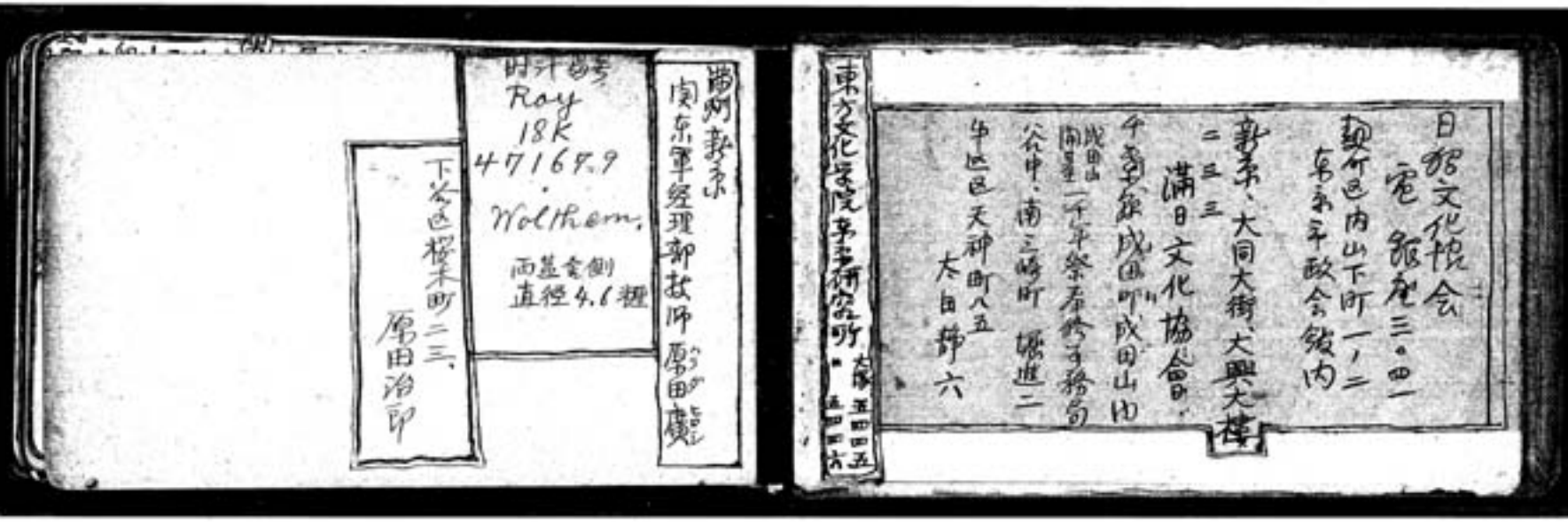
昭和九年一月より
昭和十九年末まで

CC-BY 日本語教育学会

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

いつ見てもいとうとしの
いつくしまの君に
見せてしがな

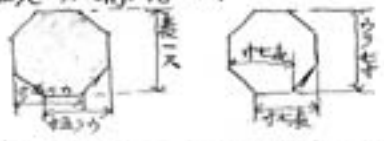
旅にして重ねる夜はの寒しろに
夢せいづこへ
ゆきのふるさと

岡	3000
木村	400
田	300
川	500
井	200
浅	200
田	95
二月分	
加藤	3000
	7695
歌会	2000
残解報	265
	9960

明治七 明和九年 月例帳

Copyright 日本建築学会

曲尺ニテ八角ヲ得ル法



唐尺の裏内面を一尺二寸ノ目盛ヲナシ八ツニ割ル。
財(宝)、福(吉)、雖(内)、義(吉)、官(吉)、知(吉)、富(凶)、売(凶)ノ文字ヲ記セルモノアリ
コレニ由テ吉ノ寸法ヲ提ムトヨフ。
創之ハ内法六尺一寸 唐尺ハ一尺二寸ニテ測ル時 四隅測リテ一寸縮ル
即チ売ヲリトス。

尺度.

高麗尺	鎌倉時代(京都)		0.176
大宝尺	大尺		1.176
	小尺		0.980
和銅尺	大尺		0.980(唐尺)
	小尺		0.81666(大尺ノ六分ノ五)

近歴の改制 不詳

大宝二年制 [illegible]
和銅ニ造ル所ノ大尺ヲ一歩トス
今コレヲ標準シ大尺ヲ一歩
京尺 四十五六ハ一. 6.666
之ヲ [redacted] 一尺ハ1.0275トナル
6.5
蓋シ便宜的ナリ
加賀ヲ
[illegible]
[illegible]
[illegible]ヲ六ツカトシテ文尺

鎌倉時代
1. 京尺(鎌倉ヲ北京大宝小尺ヲ模セルモノ)
2. 金尺(伊吹山出土の金仏塔銘ニ刻セル尺度ヲ模セルモノ. 京尺ト同じ)
3. 又四郎尺(江戸中期又四郎ノ作ル木匠用曲尺) 京尺ヨリ四厘短シ
4. 折衷尺(実測, 京都ノ際, 伊勢寺院の京尺ト又四郎尺ヲ折衷シテ作ル. 又四郎尺コレニ屈衷シ) (文化中)

明治時代
明治八年立憲制法改革, 折衷尺ヲ標準ト決定ス

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

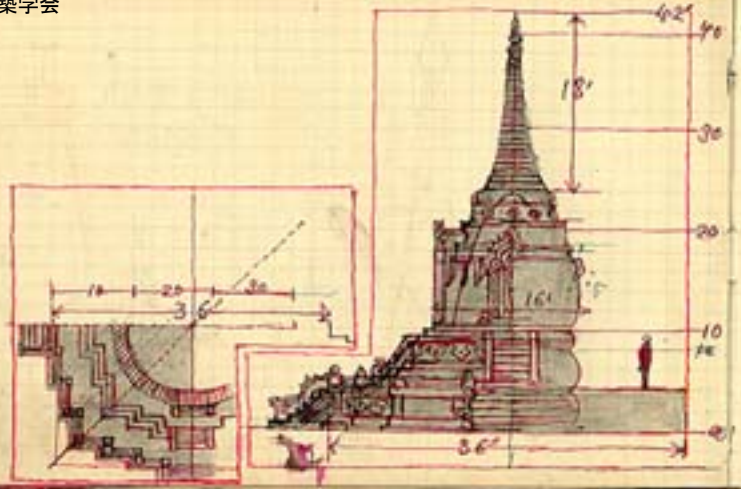
回	落札者	年代	落札価格	円
①	笠原長[illegible]	明治16	15,000	
②	島津久[illegible]	〃 20	10,000	
③	三條実美	〃 24	15,000	
④	毛利元徳	〃 29	20,000	
⑤	島津忠義	〃 31	20,000	
⑥	伊藤博文	〃 42	45,000	
⑦	大山巌	大正 5	45,000	
⑧	山縣有朋	〃 11	80,000	
⑨	松方正義	〃 13	40,000	
⑩	東[illegible]	昭和 9		

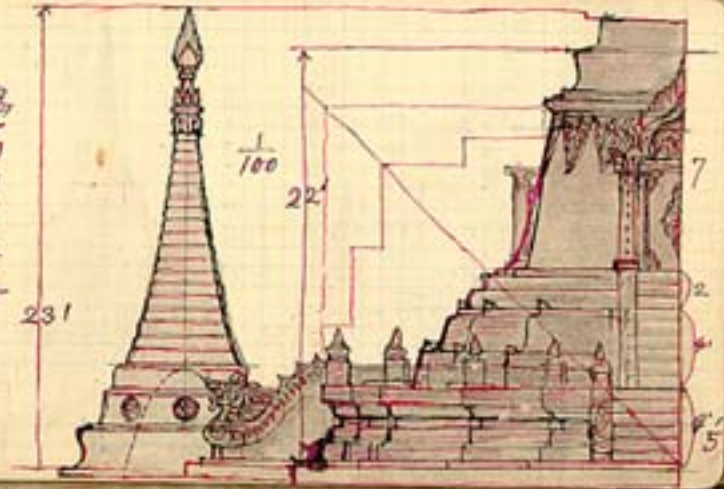
池内信嘉 七七
名呼ばれ出て舞台へ 七七
久保勇 六八
片岡直温 七六
河村清雄 〇八三
福地信世 五八
大内青巒 七〇
添田定一 四三
馬渡俊輔 〇八四
倭東御平八郎 〇八八
[illegible] 六九
久保天随 六〇
田中柏陰 九八
古在由直 七一
長谷川[illegible]印 六二
奈良崎忠行 七一
内藤湖南 六九
田島錦治 六八

水野紀[illegible]郎 七一
[illegible]浦公快天 六八
廣瀬猫 五三
浪辺敏華 七一
山田[illegible]吉 七〇
松[illegible]天民 五七
大谷関庵 七五

坂倉[illegible]郎 四二
[illegible]・ゴデ 六一
長島隆太郎 六七
上坂熊勝 六八
久米桂一郎 六九
池貝庄太郎 六六
中山貫六郎 八七
別府金七郎 七五?
大村純雄 〇五
倉橋藤太 〇九
高井計之介 六〇
津山英吉 五八
谷次郎吉 〇一
田中舎身 七二
井上剣花坊 六五
廣瀬隆之 五九
中田切[illegible] 六七
大道商道 八一
田中逸平 五三
二木保幾 四五
木村清四郎 七四

Copyright 日本建築学会





Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

ムッソリーニ
八相ヲ兼ス、
首、内、外、陸、海、
空、組合、植民
知事異動工作

[illegible]

八件

opyright 日本建築学会

昭和十七年閲覧図書

一月 [illegible]の國宝建築
大倉集古館陳列
[redacted] 今
五月 高麗神社 [redacted]
四月 尾崎神社
四月 [illegible]
六月 [illegible]
七月 明治神宮 [illegible]
十一月 [illegible]
十二月 [illegible]（[illegible]）

件九

昭和十七年購讀（十三冊）

十一月 日本建築の特徴 日本クラブ
十一月 日本建築と国民性 [illegible]
十二月 建築より見たる日本 [illegible]
十二月 日本建築より見たる日本精神 [illegible]
一月 [illegible]
二月 [illegible] 文部省
四月 支那建築名論
六月 建築と [illegible]
六月 [illegible]
七月 [illegible] 文部省
七月 [illegible] 朝鮮建築
[illegible] 東洋建築
東洋建築

昨十二月初 [illegible]

日本クラブ

昭和十七年一月以降

死亡

吉松 [illegible]太郎 七七
千葉 [illegible] 七五
錦織 [illegible]山 七三
遠藤 [illegible] 五四
澤本 [illegible] 五六
石川千代松 七五
高橋 [illegible]也 八九
戸水寛人 七五
根岸 [illegible] 六二
[illegible]（ジョーン・パートン・ジ[illegible]ンス）八一
関一 六三
中村雄次郎 七六
高橋是[illegible] 五五
高田雅成 六九
菱井[illegible] 五一
朝倉文三 ?
[illegible]（ブ[illegible]・エンガース）七五
酒井[illegible]之助 ?
[illegible]久太郎 [illegible]
[illegible]寺竹雄 六六
小笠原長幹 五一

大庭二郎 七二
関岡[illegible]郎 七〇
岡本櫻 五八
坪内雄蔵 七七
[illegible]勝三 六四
[illegible]太郎 五四
赤塚五郎 五四
[illegible]（[illegible]ホル・[illegible]レン）?
[illegible]久 三四
前島[illegible] 六三
市川之雄 七〇
小倉文次郎 八〇
馬越[illegible]次郎 八三
加藤[illegible]四郎 八二
速水御舟 四二
與謝野寛 六三
大林賀[illegible]郎 五二
[illegible]垣[illegible] —
[illegible]島[illegible]郎 六九
[redacted]
田村[illegible] 六九
岡田[illegible]郎 七五
伊知地[illegible] 七九

Copyright 日本建築学会

牧野忠篤 六六
小栗貞雄 七五
山口義一 四八
荒木英吉郎 四三
西五辻文仲 七七
松村淑一 六五
平林武 六四
工藤一記 八三
田原長敏 八四
野寺左文 八七
大江新右衛門 五七
井上哲夫 七■
牧 逸馬 三六

立花家橘三助 六八
諸洲橘燕枝 六七
井羽七郎 五一
上田高平 五七
大石正巳 八一
大島秀雄 六五
山田山繁 六一

溝渕直馬 六六
川上俊彦 七五
男富井政章 七八
石仙石政敬 六四
黒川義方 七〇
板東秀治 五六
北大路実信 六七
笠井重城 七九

茅村伊十郎 七八
林鶴一 六三
千葉亀雄 五八
上原虎雄 七一
原亮三郎 六三
梅村貞明 六九
山下義韶 七三
土岐横 七一
浜尾西郎 七六
碓部尚 四〇
杉田敬一郎 六一
孫傳芳 七三
山脇房子 七七
木村久寿弥太 ?
八田三郎 七二

伊賀宣政 七七
杉山茂丸 七二
五島清右衛門 六九
鍋井恒右衛門 五二
関野貞 六九
三村鏡三郎 六七
一瀬一二 五五
永田鉄山 五二
高橋虎太七 三六
堤定次郎 六八
浜口吉良 七八
岡村鍾右衛門 六九
井伊直安 八五
鍵富三作

田中銀之助 六三
下河辺孤雁 ?
廣田理右衛門 七一
野田六次 七〇
床次竹次郎 七〇
藻寄鉄五郎

松本長 五九
田島義雄 九三
中西用德 六四
伴豆 六五
康有壬 四一
春山作樹 八三
内宮三保松 六〇
二十五名 七七
寺田寅彦 五九

昭和十四年

錦隆英 六一
藤山常一 六六
宮本仲 八〇
山縣治郎 五六
野田鶴雄 六四
生田長江 五五
松永武吉 六八
吉田磯吉 七〇
長島弘郎
井九鳥三 七九

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

四月より
水上長次郎 八〇
小村磊 七〇
渡辺千代三郎 七二
矢田達 四八
[illegible]島敬夫 五五
伊東信一 六二
大島辰次郎 五六
福田馬之助 八一
原錦吾 七〇
久保田清 九〇
紀淑雄 六二
沢村源之助 七六
高峰筑風 五八
堀越善重郎 七四
[illegible] 六六
本田[illegible] 七一
宮谷鉦太郎 八一
池田菊苗 七三
御所[illegible] 七三
胡[illegible] 五二
[illegible] 五六五四 七三二九

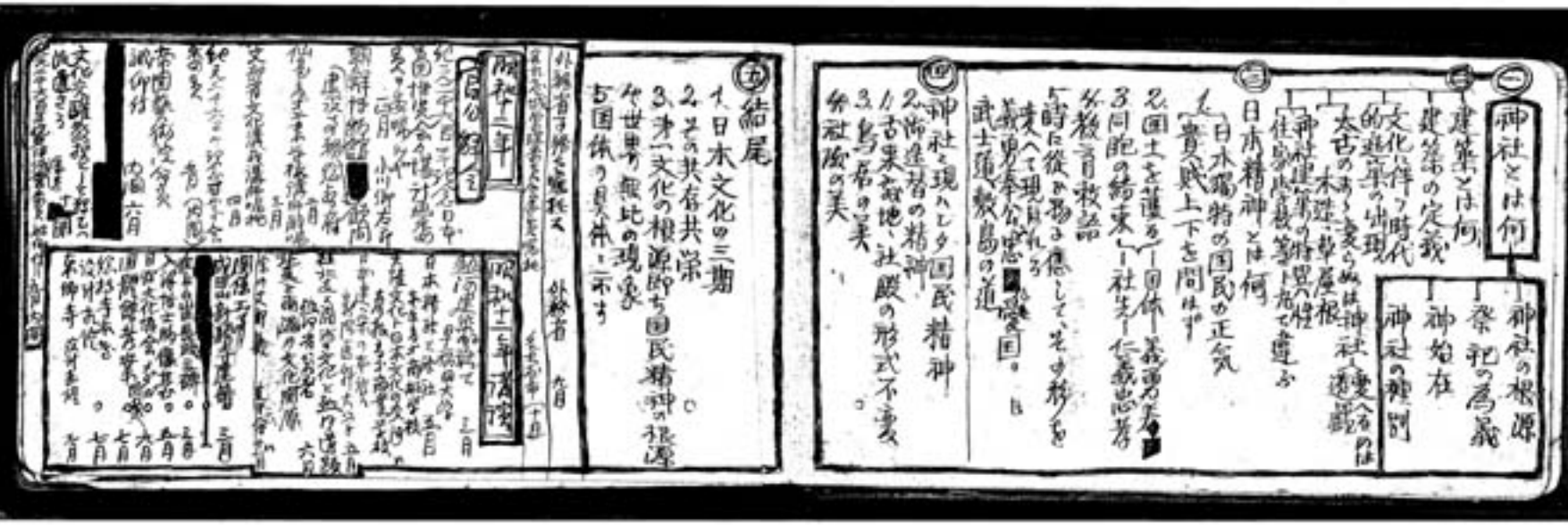
伯 柳沢保恵 六七
萩原タケ 六四
松浦良春 八七
尾竹竹坡 五九
上野金太郎 七一
上田[illegible] 五〇
山下谷次 六六
[illegible]谷[illegible]太郎
長尾半平 七二
杉[illegible]此馬 七九
鈴木三重吉 五五
鍋島佳吉 七七

太田馬太郎 七六
冨田[illegible] 五八
[illegible] 六四
市川[illegible] 七七
満谷国四郎 六五
伊達宗[illegible] 六七
[illegible]原[illegible]三 七四
[illegible]田[illegible]郎 八〇
大塚太郎 六二
[illegible]太郎 八四
[illegible]山[illegible] 六七

黒井悌次郎 七二
岸一太 六四
菅原伝 七五
阿部房次郎 七〇
松井等 六二
鈴木[illegible] 七四
[illegible] 七二
伊[illegible]忠三 六七
進藤[illegible]輔
海老名弾正 八二
中村啓次郎 七一
[illegible] 九九
[illegible] 七四
金子馬治 六八
東山[illegible] 七八
春日俊文 六五
五百木良三 六八
有吉明 六二
大谷幸四郎 六六
村田実
秋吉音次 六三
二十九人
ヴァンダーリップ 七三
権藤成卿 七〇
細井岩弥 七五
田代皖一郎 五七

伯 後藤[illegible] 四二
小泉[illegible]太郎 [redacted]
内田良平 [redacted]
牧田[illegible]太 六六
前山久吉 六四
花岡[illegible] 七〇
日向[illegible]作 六九
[illegible]本[illegible]靖 八三
[illegible]元[illegible]次 八〇
大[illegible]敏
[redacted]
和田英松 七三
下[illegible]助
中川[illegible]太郎 六五
[redacted]
小[illegible]司 五八
[illegible]太郎 七四
前田[illegible]三 六二
山口[illegible] 六五
伊東[illegible]山 六七
中村精一 六一
内[illegible]太郎 五三
津下[illegible]郎 六八
松井[illegible]郎 六四
高松[illegible] 七〇 [redacted]

Copyright 日本建築学会



一 神社とは何

- 神社の根源
- 祭祀の意義
- 神始在
- 神社の種別

二 建築とは何

- 建築の定義
- 文化に伴う時代的建築の出現
- 太古のまろく美しかりしは神社に遺る
- 木造・草屋根
- 神社建築の特異性
- 住宅に影響を及ぼす

三 日本精神とは何

1. 日本精神の国民の正気
- 貴賤上下を問はず
2. 国土を護る
3. 同胞の結束
4. 教育救語
5. 時に従ひ移り変へて現れる
- 義勇奉公忠孝国
- 武士道 敷島の道

四 神社と現ハレタ国民精神

1. 古来変遷地、社殿の形式不変
2. 御造替の精神
3. 鳥居の美
4. 社殿の美

五 結尾

1. 日本文化の三期
2. その共存共栄
3. 津々浦々文化の根源即ち国民精神の根源
4. 世界無比の現象
5. 国体の具体に示す

外務省の絵巻物 外務省 六月

明和十二年 [redacted] 小川御方 二月

明和十三年 [redacted] 三月

[redacted] 六月

[redacted] 三月

[redacted] 七月

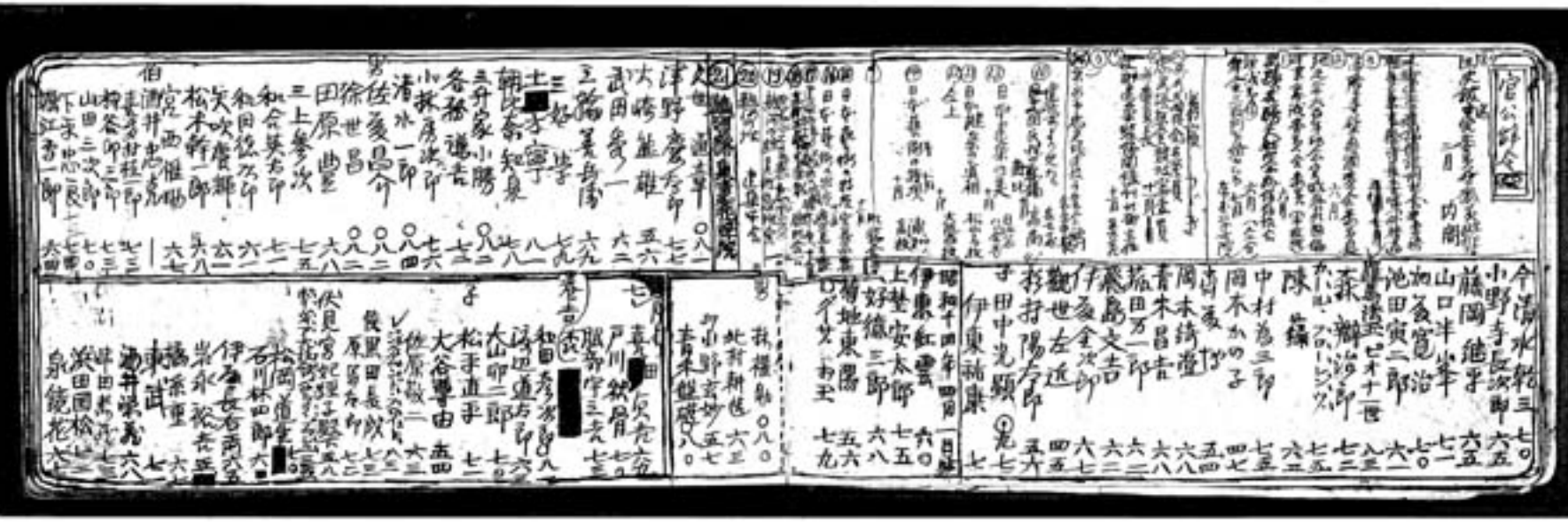
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

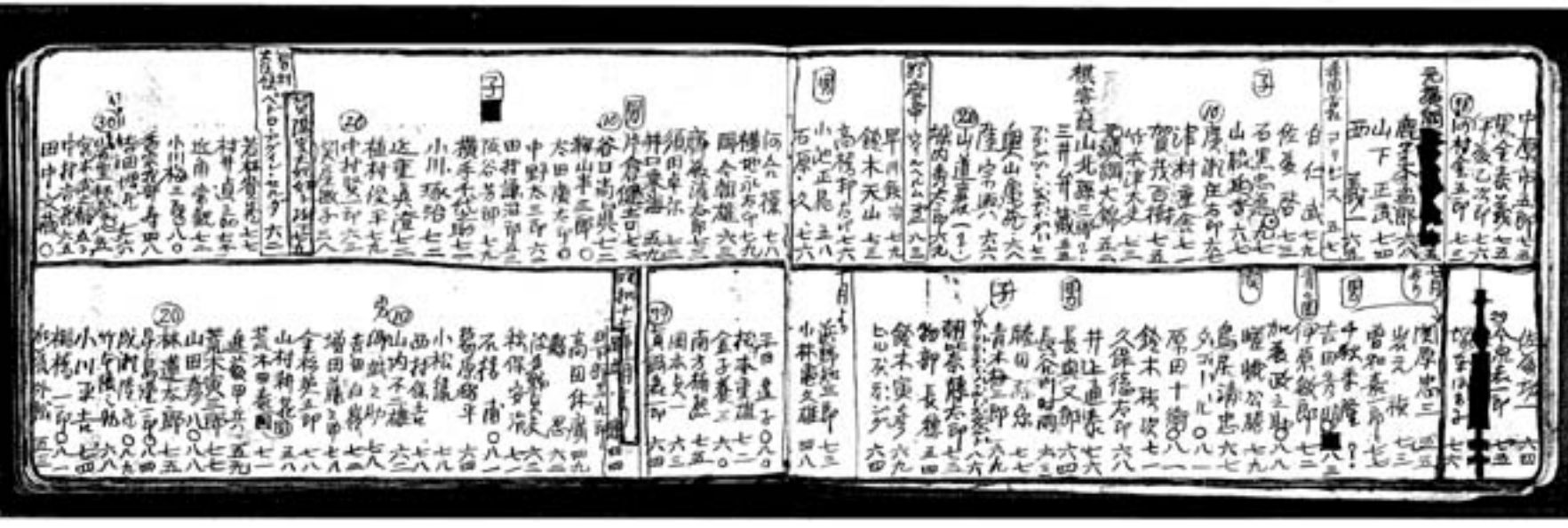


Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

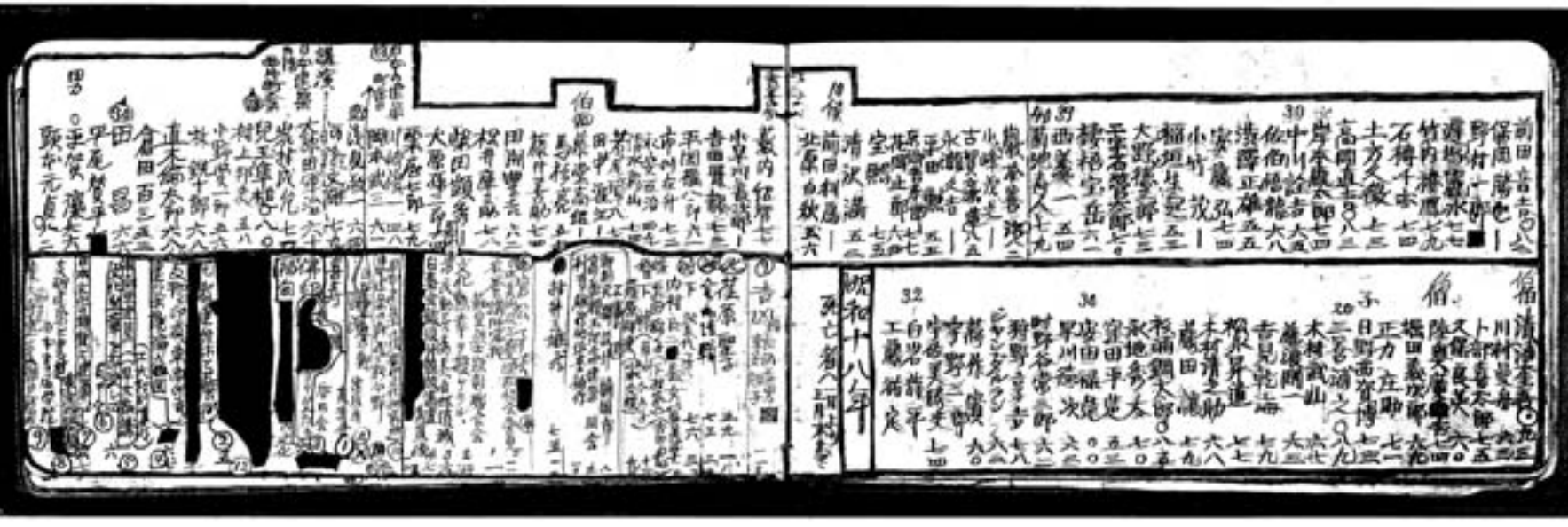
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

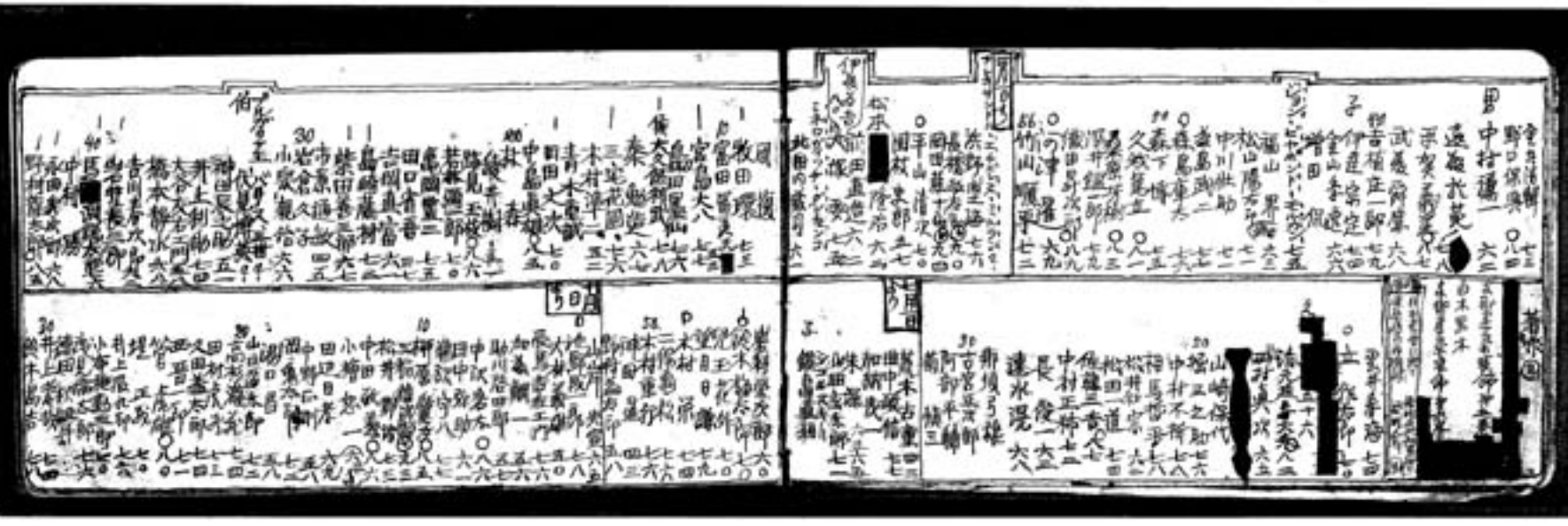


Copyright 日本建築学会

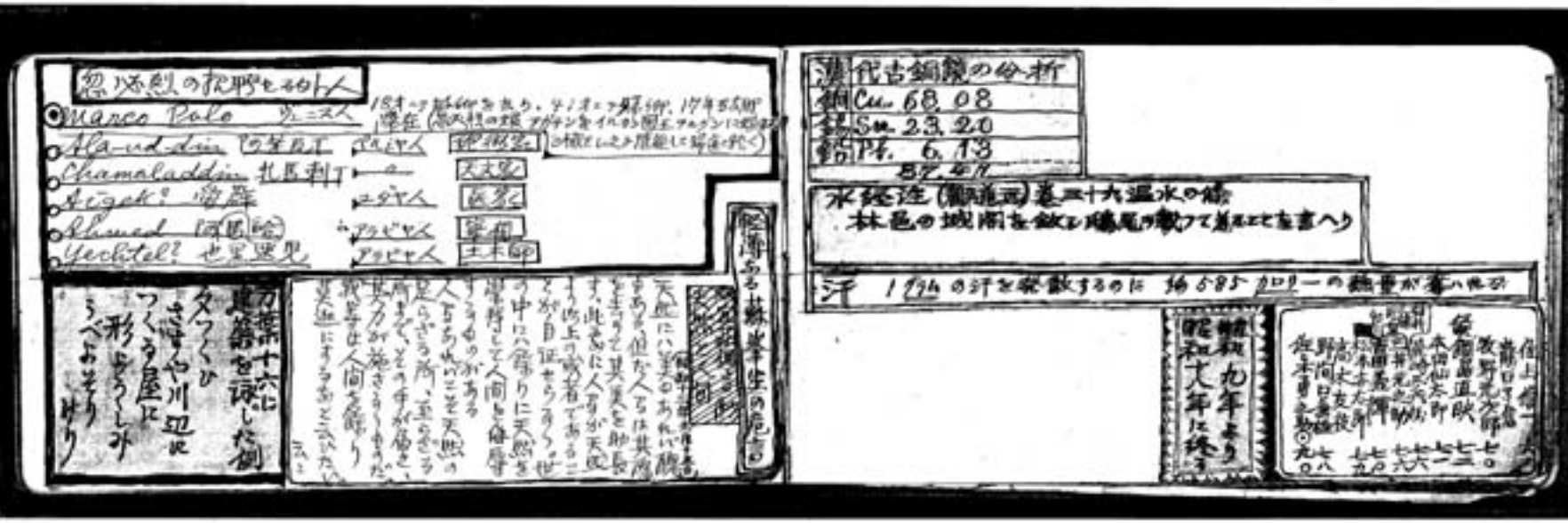
Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会



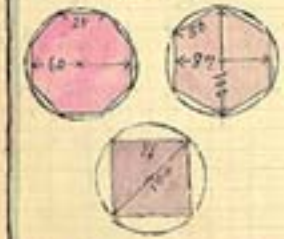
Copyright 日本建築学会

各国の面積法

圓 三徑一
方 五斜七

各既伸は円：径＝22：7と定むれども既に
欧人は杜撰なり。

方：斜＝100：141 も同様杜撰



八角徑 60，每面 25，斜 65
六角徑 87，每面 50，斜 100
内略徑 100の徑中 71の方形を得

六朝の宋の祖沖之の π の計算は
$\frac{355}{113}$ = 3.1415 まで殆ど正確なり。如何なる方法を由て算出せるや不明。
この方法は欧土にて普及く行はれたるも支那より伝播したり。

積 国土では十万分の一，兼ねて万々分の億とする。

J. Ferguson の History of Indian Architecture 1876 (明治9年) の著刊

重慶—昆明＝北京—新京＝東京廣島＝
マンダレー—昆明＝東京—下関＝ランゴーン—バー

支那學拜の儒者 藤田東湖

寛政三年十月一日 小石川北戸隠邸で生る 年五十

本名彪
通称虎之助
後に誠之進
字は斌卿
號 東湖

（平相國の流孫）

官家貴族を皆相並）豊臣秀吉を豊太閤と呼ぶ。
陣で義貞軍，林子平，紀伊侯氏（田中平八），の数多し。
明治初年に英人に教えたる日本人少からず，今日既亡あり。

Copyright 日本建築学会

建築装飾図版配置

Vo. I. ——

Vo. II　1 — 94（欄間マワリ）

Vo. III.　95 — 198（望柱マワリ）

Vo. IV　199 — 330（瓶マワリ）

Vo. V.　331 — 454（危隙（ホ鍋ロ宝ハ他）マワリ）

Vo. VI.　455 — 576（宮ロ乗紀ヲマワリ）

Vo. VII.　577 — 671（銘金具マワリ）

Vo. VIII.　672 — 811（碑文マワリ）

Vo. IX.　812 — 941（梵鐘マワリ）

モンペは アイヌ語

Omumbe

om = 脚　umbe / ompe } 散ぶ

置賜（オイダム）は アイヌ語

Oida, Oita = 城

mu = 塞ぐ

地形多山ヲ以テ塞ぐ城地

皮（かわ）は アイヌ語

Kap, Kapha

今もアイヌはマッカモンペと通称す。

matka = 婦　即ち婦ヲモンペ

今秋田の撫手地方ではマッカモンペといふ

Copyright 日本建築学会

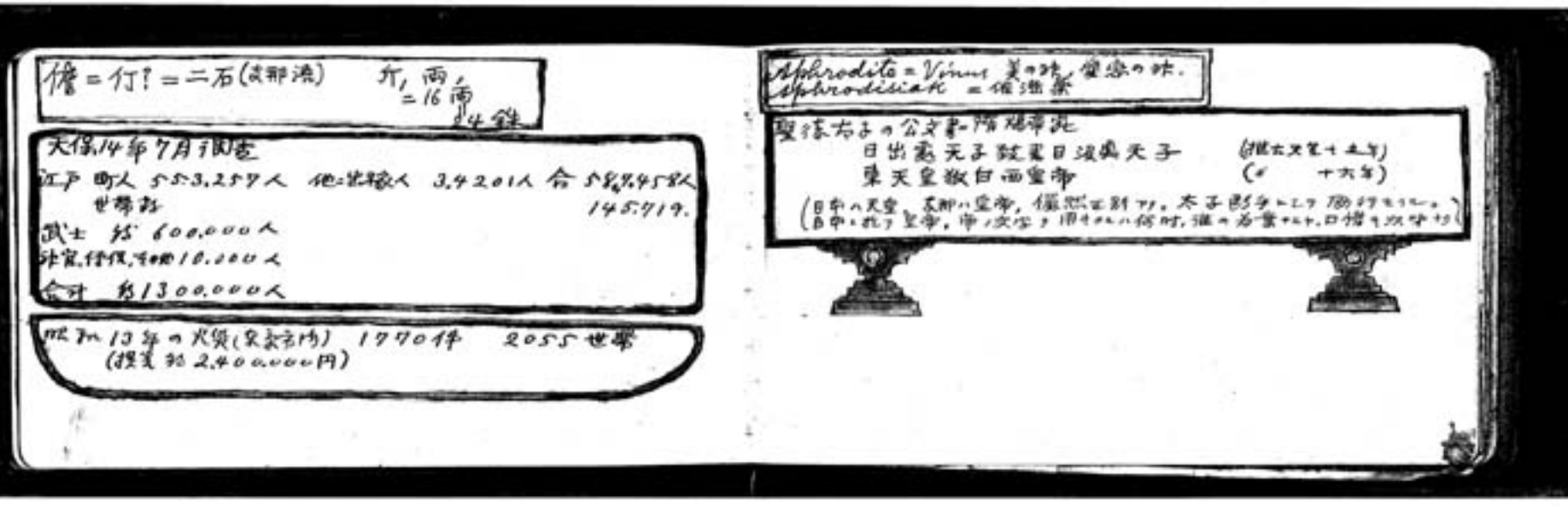
長人（五尺八寸以上）

山口鎮之助　印井哲夫　近藤文度
細川護立　坂本鹿義夫　佐藤功一
下　幡　出浦高介

短人（六五尺一寸五分以下）

久世定弼　郡参三　陶陸定載仁郎三
福田美郎　大木高任　市川国十郎
大倉敬　内藤湖南　白岩郎平
関野貞　義岡作右衛門　谷口忠
中村俊右衛門　中村伝次　井口在屋
近藤次郎　小林彦一　佐野利器
南条迷　井上清　笠田徹心
伊藤道海　宮塚珍馬　那波光雄
清水孝三郎　山口義勝　近藤常次郎
伊東敬孝　伊東敬憲　小村寿右衛門
高野栄三郎　[illegible]　桜原慶孔
水野錬太郎　原敬之助　芳賀栄次郎
金子清吉　清水三次　伊東忠太
吉岡武吉　阪部城　横川良平
加藤清雄　桜原清正

Copyright 日本建築学会



儲＝付？＝二石（武邦流）　斤，兩，＝16兩　＝4錢

天保14年7月調査
江戸　町人 553,257人　他に武家人 3,4201人　合 556,458人
世帯数　145,719.
武士　約 600,000人
社寺、僧侶、その他 18,000人
合計　約 1300,0000人

明和13年の火災（東京市内）　1770件　2055世帯
（損害 約 2,400,000円）

Aphrodite＝Venus 美の女神，愛恋の女神.
Aphrodisiac＝催淫薬

聖徳太子の公文書「隋煬帝記」
日出處天子致書日没處天子　（推古天皇十六年）
東天皇敬白西皇帝　（〃　十六年）
（日中ハ天皇，太郎ハ皇帝，偶然ニ別ツ。太子影ヲトシテ勝ナリ。）
（日中ハ我ノ皇帝，帝ハ文字ヲ用ヰタルハ何ぞ，誰ノ為ニカ，口惜ヲ次ぐ）

Copyright 日本建築学会

天壇 [redacted]

外壁内31万坪

[redacted]年17)

永樂18(1420)建功

下壇 徑 182' 高 5'4"
中 〃 〃 130' 〃 5'8"
上 〃 〃 78' 〃 6'2"

明治22

新築 光緒15(1889)雷火に焼ち
古式に倣ひ再建サル。

アンリ、マチス　日本画中ニモ模写セルモノハ多賀山保紀儀発ノ図、五人ガ祭ヲスル(有名ハ天祭ガコレデアル)ト題シ絵巻物ヲ模シタルガ詳人ヤ、五人ガ人ノ構図トサル。日本画ノ如ク。

清国語ノ翻訳ノ印象

西班牙語	陰	神と清ラカ宜シ	
葡萄牙	〃	少女と	〃
伊太利	〃	鬼人と	〃
英	〃	鶴鳥と	〃
瑞典	〃	鳩と	〃
蘭乙	〃	兵士と	〃
仏	〃	友と	〃
匈牙利	〃	馬と	〃
ボヘミア	〃	雲鷹と	〃
米	〃	ブロッキと	

事ハ通ガル又

波斯語ハ	[redacted]狂人	宜シ
印度語ハ	戦人と	〃
アラビア語ハ	幽霊と	〃
ロシア語ハ	泥棒と	〃
[redacted]		
トルコ語ハ		
蒙古語ハ		

後聚
宋の仁宗の宰相范中淹(文正公)の言
「以天下居己任。先天下之憂而憂。後天下之楽而楽」コリ出ツ

邯鄲＝山東省 清城 紅京 百五十里
祁山＝甘粛省(渭川道)西河縣北七里
街亭＝〃 秦安縣 東北 街亭

Copyright 日本建築学会

巴里に於ける日本美術展(1939)

鑑人の二寄向　1. 日本画の愛感の態さ描くがつ五きハ何ぞや
2. 歌麿の美人画は美しさを感じめる態か
3. 日本画は千変一律色も変化あさは何ぞや

伊勢出雲郡沖美村　中島神社(タレマモリを祭る)

大和造と大島造の中間
(今流れ造と変形こる)

福井県坂井郡丸岡町丸岡城
(天正十三年，最古型の天守，全然実戦型)

Copyright 日本建築学会

北斗七星（隋書信五行大義）
1. 貪狼　2. 巨門　3. 禄存　4. 文曲　5. 廉貞　6. 武曲　7. 破軍

紫微
三垣ノ一ツ、上垣ハ太微十星，中垣ハ紫微十五星，下垣ハ天市二十二星
即チ三垣四十七星也

● 円表の線まで作る場合の径 100

▣ の径 約78.5%

△ の径 約61.8%

鼎の円ハ天（三足），方鼎は地
三天両地の説，

（漢書）礼儀三百 威儀三千（礼記）
三跪九叩頭
礼儀三百 威儀三千（中庸）
方壺の西北 劉山，見天観の石窟
八つの道像アリ，

（字）説文ニ三十六黄也　段は説文解字ニ 指摘庵雖，琴三十六首 ※別
宮有琴山，
前漢書西域伝：西域ハ漢武の時を以て始めて通ず，本と三十六国あり，
其後稍分れて五十餘に至る
避暑山荘（熱河）康熙帝の36景，乾隆帝の36，
琉球 36島，又曰く54島
日本 三十六歌仙，陸奥54郡，66ヶ国，84国，
支那 昔の9州…清の18省
天竺四姓の32芽と72芽
孔子の門人 3000人，6芸子通ずるもの72人
兵書 6韜 三略
雅礼 2，三復と九復，三拜と九拜，三々九度，三寸，三省
三歩，三才，三林の説，
三彩

Copyright 日本建築学会

Friedrich Hirth の支那古代史　1907. 三月 12 倉田市
Columbia 大学ヨリ出テ.

序文ヲ曰ク

1813年 Göthe ハ同様ヲ進メタル為ニ支那歴史研究ニ限ルベカラズ.
ものゝ久しく世界ニ之ヲ問ヘリ.
支那古代史ハ東洋文化ノ各方面ニ關シ重要性アリ.

文献ハ　支那文献ノ完全ナル解説ハ
Henri Cordier ノ Bibliotheca Sinica 即チ
Dictionaire bibliographique des ouvrages relatifs à l'empire chinois (1904 年版 "Histoire" ノ項下ニアリ)
原書ニヨラントセバ
馬驌ノ「繹史」可アリ. 全部 160卷 1670(康熙9年)刊行. 支那古代史ニ関スルモノヲ網羅ス.
Wylie ノ "Note on Chinese Literature 1867 上海発行
23頁参照
コロンビア大学総長 Dr. Nicolas Murray Butler
教授 Prof. William H. Carpenter 等..
予ハ著書ノ材料ヲ此等ニ負フヘシ.

竹書紀年
魏襄王ノ墓ヨリ出テタル竹簡ニ基ク史書
原文 250. (晉ノ太康二年) (河南省)汲郡ノ不準トイフ者 間ヲ一語毫ノ墨ヲ塗ル所ヲ掘リ出セリ. 此後大ニ少シモ変化セズシテ後ヨリ見ル人ハ竹簡ニ記述セラレタリ. (晉書束皙傳ニ出ツ)
但シ遺憾不詳, 異説多シ.

Copyright 日本建築学会

A big dark dog met a bad black duck,
Then did the big dark dog back at the bad
black duck?
Or did the bad black duck peek at
the big dark dog?

赤表紙に青表紙、長表紙に黄表紙
生米 生麥 生卵
長持の上の生米七粒
特許許可局

人名と民族色 更迭すれば名も変る

日本 国尾 守
支那 鼓腹撃壤
印度 ヒロ・シラチンダ
近印度 ナンダカ・シリマヘンドラ
ペルシヤ アブトルカ・ハチトラズ
トルコ アラン・ベー
イスラク ワルヤ・コマル
アラビア ジルダル・アヴイル
赤道 アルギマスト・クタビレルデス、
伊太利 ナニヲ・ミチルカ
西班牙 ヤミヨーニ・バッサリ
佛 コマラン
チチー、モンボラン
英 マクシゼン・ベランメンブルグ
墨 モロイナ・ベチンコ
波蘭 アクス・ヤルト・アラトキン、
米 カルタカ・エライン
ブラジル シラナイカ・ベッポー
ルーマニア アムラマ・カバラスキー
ソ聯 ボールヤタ・アシム
シヤム
エヂプト アノネ・ホロット
チリ
メキシコ タロカヒヤ・ヤルマーブ

Copyright 日本建築学会

① 道教の起源の民族的宗教性から始

② 第3章 不老長生の術，富貴長命を得ちの術，仙人になるが絶命

③ その為に丹砂を精錬して金を得，之を服すれば長生する

④ 張道陵は四川の鶴鳴山に籠って仙術を研究し，天帝から実録を授けた。人の善悪は天が知っているが，之を治す術を授かった。それは，病は不道徳から起る天罰である。祓ヒ神の御霊と懺悔すれば治る。
懺悔用として符札，符水，などの種符をでき与へた

⑤ 教は老子を信じてよく修み人々も従いた。老子の教は道教（孔子の道徳とは全く異なる）これより道教の名が起り，老子を教祖とする
に至った

⑥ 張道陵の孫百年より馬洪が抱朴子を著し神仙になる術を書いた
彼は老子を聖人者の（神仙の如き）ものとして取扱って居る

⑦ 葛洪によって完全に道教が組織され，家教の型が出来た。

⑧ 道教の書（経典）三あり

1. 太上洞玄経　2. 太平経　3. 抱朴子

⑨ 太上洞玄経の人の修養法は行の長短によって因果応報あると述べ
初めは「稽顙無門，唯人所招」とあり，これは阿含経の言葉
終わって「善悪報作，無善無行」とあり，これは仏教の教へなり
儒教は儒教や仏教からいい所を取って居る

⑩ 神仙の法は一点張りで
大ある善行をすれば寿命が300日延び，大なる悪行をすれば300日縮む
小なる善行は一日の寿命が延び，小なる悪行は一日縮む。

⑪ 教は政府が国民を指導しやすいから国民の為に，悪民に功利主義を利用して善を勧め悪を戒めたので，聞くもインチキ宗教と呼ぶべし。
太平民族は国が亡びても，太平者が誰であっても自分は関せず富と
長寿を願って来たのは道教の力であると思へる。

⑫ 但し功利主義が悪用されて堕落しつつあったとみへる。

⑬ 儒教は士大夫の教へで一般の民族のものでない。

老子の三宝　1. 慈愛　2. 倹　3. 敢て天下の先とならず

Copyright 日本建築学会

六觀音

1. 聖觀音
2. 千手〃
3. 馬頭〃
4. 十一面〃
5. 准胝〃(准服)
6. 如意輪〃

(一説ニ千手ヲ1とす)

順位は右廻り(左廻リ説モあり)

宋代の教學

○蜀派 = 程頤(伊川) 蘇軾(東坡)

○朱陸 = 朱熹(元晦) 陸九淵(象山)

○浙派(閩)の學 = 陳傅良(浙江永嘉人) 陳亮(龍川) (閩中の人) 程明道 程伊川 (洛陽の人) 朱熹 (閩の人)

大抵、佛教哲理と宇宙の原理と人の心、殊に人の心と宇宙との関係などを空理空論あり。聖賢の教を説くより外たり解釈の見たりして理窟をこねたものと思はる。

阿片戦争の成ばシリ(円明園焼亡) 英仏の暴虐

1860年(咸豐十年 安政七年)十月七日、八日に亘り仏軍先づ円明園を襲撃す。珍宝、古書、絹類円を優るものは全部略奪したり。優れたる英軍隊いせに、残宝を掠奪した上十八、十九両日に亘りて焼却し完全に灰燼に帰せり。

彼等ハ長髪賊を撃して清朝を滅亡せんとする意志あり。18年以来

清を亡すものは英仏なり。後に米参加す。

中華民国を亡ぼさんとするや英仏あり。(ソ聯之ニ参加す)。後に米国これに参加ス。

Copyright 日本建築学会

支那の三本位

山＝　川＝　森＝

その他

顧愷之の画論に曰く

『凡画人最難、次山水、次樹馬、臺榭一定器耳、雖成而易好』

（この厂代名画記見るべし）

大

前 張孝師、張僧繇、顧愷之

後 閻立本　　閻立德

呉道子、（裴旻の劍舞、李白の歌詩、張旭の草書を三絶と称す。呉道子の劍舞の妙に暗示を得て画神を得たり。洛陽城北、玄之堂壁に描きし五聖図に就て、杜甫之を評して『吹雨地軸、対色動宮墻』と云へり。

李思訓、嘉陵江三百餘里の山水を、呉道子は一日で描き終り、李思訓は数月を要せり。彼の嘉陵と此の用筆とを知れるべし。

（朱景玄が八十餘才の古老より聞いた話、興慶宮中門内で呉道子が円光を描く時、先ず壁を背にして見る者へ、筆を立て揮毫する勢花の旋風の如くありしと。）

呉道子の画は白描を主とし、彩画は淡彩にして、顔人色彩を施こす様したる例多し。

韋偃

張位（蜀人）

王維、張璪、畢宏、王墨、劉商、他 何れも山水の名家

清代　張雨子（歌字）
張子度

Copyright 日本建築学会

九流百家

I	兵家	孫子, 吳子
II	縱橫家	蘇秦, 張儀
III	法家	商鞅, 申不害
IV	心家	墨子, 楊子
V	名家	公孫龍子
VI	虛無家	老子, 莊子
VII	儒家	孔子, 孟子 韓非子

僧位

1. 衆徒 — 僧侵 僧尼 / 沙弥 (十戒)
2. 參衆
3. 權律師

所化

4. 律師
5. 權少僧都
6. 少僧都 — 7. 權大僧都
9. 權少僧正 — 8. 大僧都
10. 少僧正
11. 權大僧正
12. 大僧正

能化 — 寺の住職となり 授戒その他の 權能を得

Copyright 日本建築学会

Prof. Hermann Straus
Budapester Str. 11. gegenüber Zoolog. Garten
Charlottenburg Berlin

宮本璋 Prof. Miyamoto bei Frl. Fenchel (代筆)
Luthersstr. 51 Berlin W. 62

[illegible] Dr. Sakaya bei der Japanischen Botschaft
Ahornstr. 1 Berlin W 62

Dr. Ramming
Japaninstitut Kurfürstenstr. 55 Berlin W 35

[illegible]

[illegible]

Copyright 日本建築学会

八・蜀

東

忠

Gutenberg 活字 1445.
Kepler 天文学 1600
Fabritius 〃太陽黒点 1600
Kircher 幻燈 1646
Göriek 空気ポンプ 1650
マッデブルグ半球実験 1654
Fahrenheit 寒暖計 1720
Kreist ライデン瓶 1745
Haascher 天王星発見 1781
連星発見 1802
Frankofer 太陽スペクトル 1806
電池

13.11

北緯47度	十一月二十一日	日出	7.32	日没 4.28
太平洋上	冬至.	〃	7.51.	日没 4.09
Hamburg 53° 30′	正月元日 ——	日出	8.08	日没 3.50

有吉吉清 c/o. K Line 111 West 7th Street. Los Angeles California U.S.A.

加後修三郎(長十郎)
247 Haverstock Hill. Hampstead London N.W. 3

子爵 加納久朗 Viscount Kano Esq. The Yokohama Specie Bank
7 Bishopsgate Str. London E.C. 2

清水五郎 Herrn G. Shimizu The Yokohama Specie Bank
39 Alter Damm. Hamburg

Copyright 日本建築学会

日程

年	N	日	
1937.	11.	19	横浜港
1938.	1.	1	横浜着
	1.	2	〃 伯林着
	3→7		3—7 講演、打合、準備
	1.	10	第一回講演
	1.	17	第二回
	1.	29	第三回
	1.	31	第四回
	2	7	第五回
	2	14	第六回
	2	21	日本人会義 第7. Hamburg
	2	28	2. Berlin
	3	7	3. Leipzig
	〃	14	4. Bonn
	〃	21	5. Frankfurt
	〃	28	6. München
	4	8	München 発
	〃	10	ウィーン
	〃 5	13	神戸着 一泊
	〃	14—15	博覧
	〃	17	京都着

経費 收支表

收入		支出	
文化協会	20000	残数	
相撲者	16000	伯林滞在費	7000
自費	20000	独逸旅行	500
合計	72000	汽車賃	1500
		運搬費	2100
		伯林出発費	700
		小計	12300
		差引	金六千五百円
	13500	残数	1200

伯林滞在費	500
伯林出発費	500
汽車賃	1500
運搬費	1000
ホテル	400
土産品	1300
食費	800
その他	1000
貯金	2000
合計	13500

Copyright 日本建築学会

北山淳友　Berlin, Japan institute. Kurfürstenstrasse 55
Dr. M. Ramming.　〃　Berlin W. 35

小島秀雄　独乙大使館付海軍中佐（本邦用中将級）

松山貞次郎（代井出一郎）（Oxford Circus, London に日本人ホテルあり）
●松山吾二郎
Consulate General of Japan
15 St. Helen's Place Bishopsgate, London, E.C.3
●江戸十左衛
Consulate General of Japan
Hamburg 1, Alsterdamm 39, Deutschland.

上野直昭　京都大学 法学部長　　安井高俊　[illegible]
[illegible]　[illegible]　　[illegible]　[illegible]
[illegible]田秀春　高等[illegible]教授　　[illegible]　中野　[illegible]
矢代幸雄　[illegible]

• 雄公一　Consulate of Japan, Los Angeles.
• 海本徹雄　Consulate of Japan, Panama
• 服部勝蔵　c/o Mitsubisi shoji Kaisha
Hermiann Göring Strasse 6, Berlin W. 9.
（十二月三十一日伯林着 — 昭和十三年一月十五日伯林発）
牛場信彦（外務）　独乙大使館書記生（[illegible]）
• 玉置[illegible]　Berlin-Charlottenburg 9
Kastanien Allee 3

Copyright 日本建築学会

第乙行 実行経費

	伊東	飯田	合計	備考
往復料	1300	600	1900	
資料費	300	—	300	
通信費	2500	2000	4500	
住居費	2500	1200	3700	二ヶ月半
郵便費	1500	1000	2500	二ヶ月半
諸雑費	2500	500	2000	一ヶ月
補償	2400	700	3100	
合計	12000	6000	18000.	

諸雑費

扶持費	1[redacted]00
土産物	1[redacted]00.
其の他	200.
合計	2500.

補償

名古屋 化研	600.
工業大学(・)	300.
[redacted]	
其の他	[redacted]
合計	[redacted]00.

林業	写真	[redacted]	400
たれる	ハンバーグ 五個	[redacted]	200
林業	鉛筆, 紙,	20.	20
教授	ナイフ七個, 電気機, 万年筆,	[redacted]	300
つるき(補償)		30.	30
校長	ナイフ, 万年筆,	20.	20
入浴	ナイフ,	30.	30
三雄社	ナイフ, 万年筆,	30.	30
松井	ナイフ, 万年筆,	20.	20
五十嵐	ナイフ, 万年筆,	15	15
自分	地図一 [illegible] 其の他	2 [illegible]	180
その他へ	ナイフ, 写真, 陽はがき二十五人分	50	55
	第乙	1615	1300

Copyright 日本建築学会

第乙行 経費決算 (文化協会作製)

外務省

表面的 収入

(1) 16000.00 文化協会支出 {伊東へ 3000, 飯田へ 3000}

(2) 16000.00 外務省補助

(3) 7080.00 自弁 {伊東 5080.24, 飯田 2000.00}

合計 29080.24

実収入

2000. 文化協会より

16000. 外務省より

18000. 合計

表面的 支出

伊東分

(1) 3262.66 日郵往復船賃料

(2) 2777.46 常宿料

(3) 2000.00 打ち合わせ内浪費費

(4) 8000.00 歓迎懇在費

16040.12

飯田分

(1) 3262.66 日郵往復船賃料

(2) 2777.46 常宿料

(3) 2000.00 打ち合わせ内浪費費

(4) 5000.00 歓迎懇在費

13040.12

合計 29080.24 29080.24

Copyright 日本建築学会

Dresden.	日本の佛教建築	二回	20
München.	日本精宗と建築	二回	10
Frankfurt.M.	日本の建築の特徴	一回	10
Bonn.	東洋建築の通性	一回	10
Hamburg.	日支建築の関係	二回	10
			60
		通計	150.

	枚	円
幻燈	150	120
写真	100	200
図表	15	50
		370.
容器包装		30
		400.

其有銀貨五円紙幣ヨリ。南京豆一つかみ。日本兵士。
輸血ヨリ心臓気

Copyright 日本建築学会

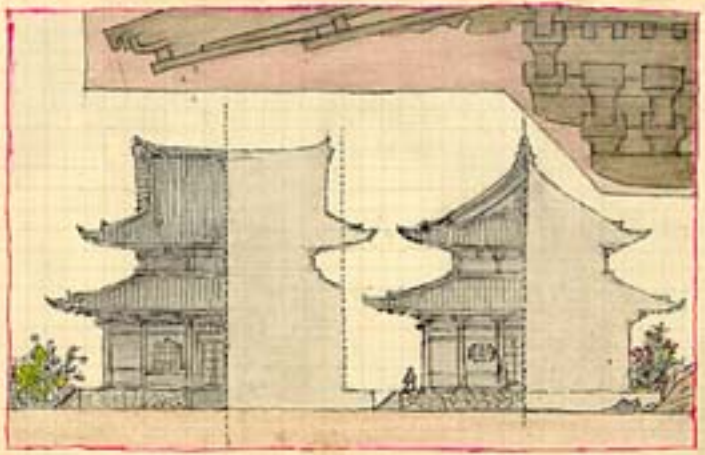
一支七寸五分、下は三寸、間は〇〇、

大十尺 平八十支
- 中の門① …… 26支 = 19.50
- 脇の門② 15支 = 11.25 | 22.50
- 角の5(2) 12支 = 9.00 | 18.00
- 6000

五十四尺 妻七十二支
- 中の5(3) 16支 = 12.00 | 36.00
- 隅の5(2) 12支 = 9.00 | 18.00
- 54.00

側柱 中柱 柱圣 圣 一尺八寸 二尺三寸

軒の出十五尺
- 九折ぐ四支 3.0
- 地 六支 4.5
- ひえ人五支 3.75
- 11.25



Copyright 日本建築学会

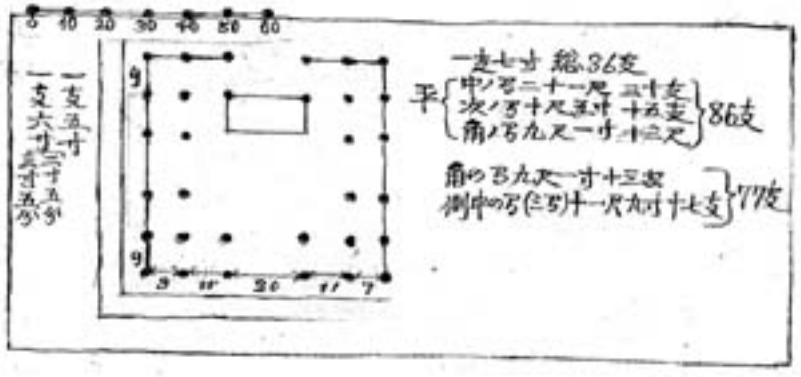
相模 = サガラ
相樂神社 = サカナガ神社
十輪院 = ジウルギ
興福院 = コンブヰン
風呂 = フゲシ
筑摩 = ツカマ
置賜 = オイタミ
= ヒタテ
= ミチノク
阿拜 = アベ
大泰 = ウヅマサ
= ヤマト
= カスガ
= アスカ

城主
山城
大和
春日
飛鳥
能登
信濃
羽前
常陸
陸奥
伊賀

武蔵 = ムサシ
相模 = サガミ
上野 = カウツケ
下野 = シモツケ
上総 = カツサ
下総 = シモフサ
近江 = アフミ
遠江 = トウトウミ

一、建築の本質
二、同市建築の発生
三、同発達 — 歴史
四、東洋藝術の系統

国土
国民性
国民
宗教
生活



Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

カフスボタン
土人
木彫
パヤ
木材
ビンボン
板
乙
手摺
宮
塔
山
高阿

熱河 一時間半 一時間半 三十分

序

一 始メテ熱河ヲ聞きたる欲求の経過 現場ヲ見る経過 古今書籍の大い観ク

二 熱河の地理と歴史

三 離宮八大寺の由来

四 今日に至る経過

五 建築の相地ト就テ

六 建築の意義ト就テ

七 建築の様式手法ト就テ

八 建築の價値
イ 満州国として
ロ 東洋文化史上
ハ 建築史上

九 保存の必要

十 刹々 驚みの秋

十一 廢残ト雖モ八日本ト同源

十二 江湖の芳雲の希フ

映画十点

Copyright 日本建築学会

次ニ臺灣固有ノ建築ヲ保存スル
ニハ清以後ノ支那建築ニテ宗教的ノ
モノヲ主トシ、
例、台南城、南大門と東大門
城。
仏寺。台北龍山寺 台南開山神社 嘉義城隍廟
道廟祠。台南 天后宮 鹿港 媽祖宮 台南 乾隆宮
孔廟文廟。
何レモ見ルニ足ル
然ルニ或ハ之ヲ低級見戯ニ均シキモノ、又ハ
醜劣ナルモノトシ、片端カラ破壊セントスル
(部分的ニ破壊スルモノアルハ大ニ非ナリ、其理由
ナリ)
①、政治的ニ
土民ノ皆々トシテ喜ブ所ノ廟祠ヲ後等
ノ為ニ不ス異政、悅服セシムル
②、文化史的ニ
福州ノ王氏園館ニ模ス文化ノ
根源ヲ完ク失ハ惜ム、義務ノ心理ヲ
知ルベシ
③、図案的ニ
用材ニ於シモ少ク悪ナラス取テ
一例、龍山寺ノ如キ、其ノ他
然ルニ或ハ都市計画上邪ナリトスルモアル
ゴレ大ニ非ナリ、都市計画ハ地理ト歴史ト上ニ
立脚シテ始テ意義アリ、由来世人ハコレ
等関ンスルハ誤レリ、諸君大ニ努力セヨ、

序説(感想ノ一端ノミ、講話順序ニ拘ラズ)

其一 清ノ移ノ目的
官衙ノ位置、案内ニテ見学(日ノ少
始メテ(実ハ二十年前度)見テ間ラ
見テ極楽、
その位置のアルトキ(美しの島)ト高砂(詩原
不明)蓬莱(語ク仙境)
コノ地ニ在テ仕ヘスルハ尚欲ナラズヤ
諸君ノ益々奮励努力ヲ祈ル。

其二 感想ノ一端(間違ッタラ訂正セラレタシ)
北清ノ大発展、都市ノ発達、
建築ノ隆盛、大ニ慶賀、
考フベキハ土地ニ適スルト
南部ハ熱帯、情調ニ自然界ノプライト
植物ノ形色
日本ノ版イ沈ンダ情調デハ屋目、百尺
ニ満カリ、一丈以上ノ程ノ格闘ト茶室
絵ノ建築ニ
欧米式ニモカメ、猶創ヲ要ス。
其北ハ亜熱帯、凡物南方ト異ナル、
亦自ラ別趣味ヲ要ス。
(完ニ南大ト研究ノ要ナリ、新味ト手
勿レ、模倣ハ猶更ダメ。

Copyright 日本建築学会

新高山
昭和二年八月日

講演場

一、序
二、藝術の說明（信仰の對照）
三、仏教藝術の傳來日本の榮枯
四、仏教藝術の變遷進歩
五、建築
各時代の代表
六、住宅と及住宅の影響
七、彫刻繪畫、代表作品
八、仏菩薩等の六ヶ敷さ表顔の今日
九、仏教藝術を尊重視する勿れ
十、国宝として尊重各自覺醒を要す。

政能、神社と建築

一、序
二、神社の起源
三、宗教か否か
四、支那の神社と比較
五、神如在古式を守れ進獻を有さず
六、木造瓦底コンクリートは格納庫
七、建築美
八、文化共存共榮
九、ゴロ知ず神社と素持たる所

Copyright 日本建築学会

昭和十二年[redacted]

七月十八日

P.M. 1.55 上野発 3.35 成田着, 609 成田発 7.49 上野着

七月

23(木) P.M. [redacted] 3.00(7.0) 東京発 10.35 京都着 泊,

24(金) A.M. [redacted] 7.30 京都発, [redacted] 10.26 法隆寺着

P.M. 4.03 法隆寺発 4.43 天王寺着, 5.00 天王寺発 5.48 和歌[redacted]着 (望海楼 泊)

26.(日) [redacted]

A.M. 11.25 和歌山発 0.25 紀伊着

P.M. 1.00 大阪発(急) 9.00 東京着.

七月

29(水) P.M. 3.00(富士) 東京発

30(木) A.M. 9.30 下関着 正午門司発 (高千穂丸)

八月

1.(土) P.M. 1. 基隆着

5.(水) A.M. 10. 基隆発(高千穂丸)

7.(金), P.M 2. 門司着 8. 下関発(富士)

8.(土), P.M. 3.25 東京着.

八月 13(木) 能登半島旅行. 16(日) 夜出発 17(月) 東京着

21.(金) A.M. 7.15 東京発 2.44 国府津着 8.50 小田発

〃 9.52 伊豆急着

P.M. 3.57 〃発 4.46 国府津着 6.26 東京着

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

● 五十校計程(吳支謙譯)

一根ニ六煩脳アリ，六根合シテ三十六トナリ，之ヲ三世ニ配シテ百八煩脳トナル

◎ 知度論　根本惑ニ九十八結アリ
　　枝末惑：十使アリ　} 合セテ百八煩脳トナル

e → i
↓
a

寧(Ne) → Ning
↓
Na

明(Me) → Ming
↓
Ma

寧楽 = Nara

有明■ = U-mangio
(馬乙)

弘前

城　門四口　櫓四基(東南，西南，東北，西北櫓)(65.)

常勝寺山門　60.

誓願寺総門　65.

　　寺部屋　50.

　　寺五重塔　75.

八幡宮　~~50~~.

熊野社　50.

Copyright 日本建築学会

羊ビ＝羊啼く
奎＝小羊

鮭＝河豚　鮭ハ鮭の俗字(サケみたいな)

知之者不如好之者
好之者不如樂之者

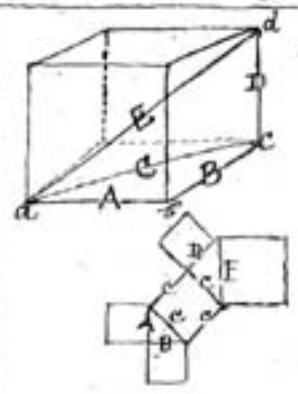
Copyright 日本建築学会

宦イ＝室ノ東北隅，コハリ日光ヲ入レ，食事ヲナス，コレヨリ東北隅，隅，暮ヲ，明ケ，日光ノ入ル處ナルガ，豪味

古社寺保存会委員

	昭和6年	30	32	36	40
	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期
委員長	久米×	—	—		
総務	岡倉×	〃	〃		
絵画	橋本× 川端×	片野，×	溝口 藤		
彫刻	岩本 高村× 平櫛×	新海			
工芸	菊田×	福地，×	香取，		奥田
文書	黒川×	小杉 ×	黒板，荻野，津		辻，
建築	伊東（今村 長野）	木子，× 島木×	関野×		飯塚× 武田×
刀剣	横川，× 手塚×			一木，	三矢，
雑件	山高，× 三崎×	久保田	野村，福地		

Copyright 日本建築学会



$$ad = \sqrt{ac^2 + cd^2}$$
$$= \sqrt{\sqrt{ab^2 + bc^2} + cd^2}$$
$$= \sqrt{\sqrt{9+16} + 9}$$
$$= \sqrt{\sqrt{25} + 9}$$

Eヲ知ラA, B, Dヲ求ムル法

755
−7
5285

755
498
6048

支那	大和大尺	曲尺
周 一尺	0.993	0.935
一尺 9尺	6.269	6.090
一尺 10	7.930	7.550
一尺	0.993	0.935
一尺	7.930	7.550
一尺	0.820	0.990
淮尺一尺	0.832	0.820
土圭尺一尺	0.922	0.793
一尺	0.833	0.803
歌尺	0.833	0.803
市尺	1.000	0.969
小尺一尺	0.833	0.803
大尺一尺	1.000	0.969
量長尺	0.833	0.803
大清尺	1.099	1.012
官尺一尺	1.093	1.059
戴氏尺	1.166	1.129
古尺	0.886	0.879
今尺	1.073	1.059
新尺	1.208	1.169

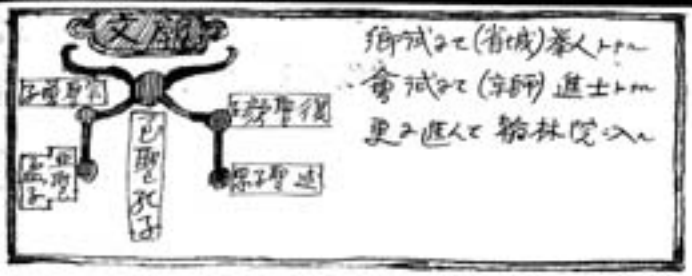
◎淮南子に身の丈八尺は、日本の六尺に当る
◎九尺は軍の器物調べて日本の六尺あまりに当る
◎一丈は日用器調べて七尺に近いとの示唆
◎七尺は五尺にあたる小男をいふ

Copyright 日本建築学会

瑞西ノ建築ハ14世紀末 34年頃 成ラヤ 西班牙大使ビスカイノ 案内として宣教師ソテロ来る。
ビスカイノ瑞西ノ壮麗ヲ激賞し、Escorial ヒヒスヘキ世界……
建築ト云ヒタリ。
ソテロハ 太平洋大ロエロを渡航し、メキシコ、西班牙、を経由シテ羅馬ニ
至リ 帰途 長崎ニ立ち寄リ 長崎を終ヲ帰国ス。

Copyright 日本建築学会

Rithm 律動 = 調子(五七調の如し)
Melody 旋律 = 節回し 高低長短の間適し
Harmony 和声 = 声の振動の共鳴 音の和



郷試ありて(省試)舉人となる
會試ありて(京師)進士となる
更に進んで翰林院に入る

Copyright 日本建築学会

[illegible]

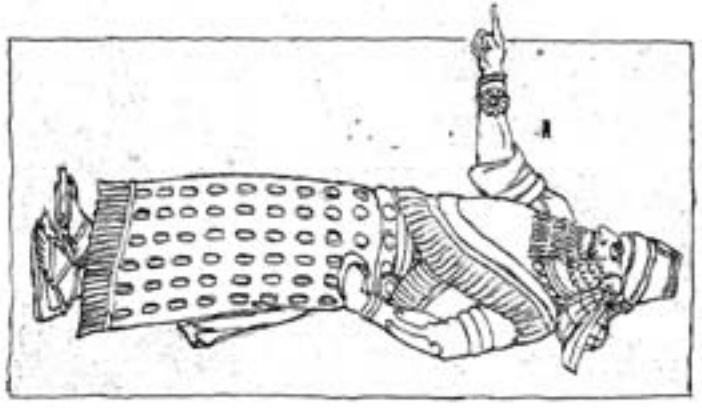
慶長17年ヤ[illegible](設ヶ)ガ熱田境内ニ飯篭尾ヲ創ム
[illegible]永年中 今地ニ移ス.(右堂の由歟)
寛政五年(焼失大部分), 震海和尚之再興シ 熱田宮ヲ直入軒
等ヲ移築シ紀模を整ヘ

ツブ=タニシ
ザンマイ(スル)=心配スル
ガッテン(シナイ)=意地張イ

荀子、子道篇第二十九

入孝出弟、人之小行也。上順下篤、人之中行也。
從道不從君、從義不從父、人之大行也。

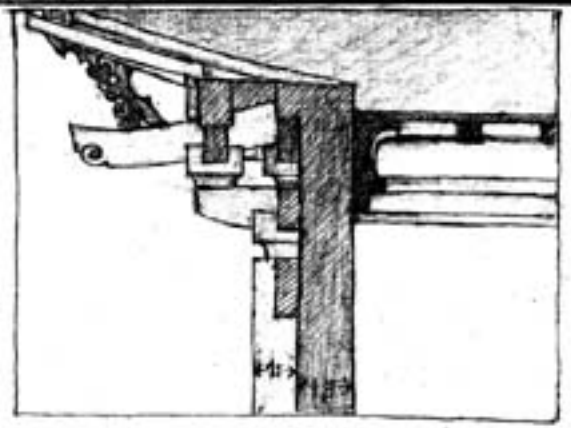
Copyright 日本建築学会



(2)14) 11(木) P.M.3(富士)発
12(金) A.M.9.30 下関着, 10.30下関発 P.M.6.30登山系, 8.[redacted]登山発
13.(土) A.M.7.45 宇佐着. 唐戸破, 神宮破.
14(日) 神宮, 神宮破, P.M. 10.5 宇佐発
15(月) A.M.9.40登山系 A.M.11.30登山発 {P.M.7.30 下関着 / 8.30(翌日)発
16(火) [redacted]P.M.3.25 宇佐着

(2) 52 ヴェルサイユ條約兵備條項ヲ廃棄ス 61 洋魂漢才
53 夢の幻力 62 不可端晩
54 原古墳しんす 63
55 アジヤ人ハ日取ハ盛リ返シ 64
56 富士遥望 65
57 富士望秋雁 66
58 逃げる人 67
59 陽島聖言・落度 68
60 間柳氏・皇帝所来話

Copyright 日本建築学会



謚号	廟号	年号	西暦	陵号	遺骨在地
高	太祖	天命			
文	太宗	天聰 崇德			
章	世祖	順治			
仁	聖祖	康熙			
憲	世宗	雍正		泰陵	
純	高宗	乾隆			
睿	仁宗	嘉慶			
成	宣宗	道光			
顯	文宗	咸豐			
毅	穆宗	同治			
		光緒			

Copyright 日本建築学会

△ August Renoir (1844—) Paul Cezanne (—1906) Hilair-Germain-Edgar Degas

Impressionism: Edouard Manet (1832-1883). Monet ( ).△

Neo-Impressionism: Paul Gauguin (1848-1903). Van Gogh.

Cubism: Pablo Picasso

Futurism:

Expressionism: (Pierre Puvis de Chavannes (1824-1898)?) Candinsky

Compositionalism.

Constructivism.

Copyright 日本建築学会

家屋形弥生式土器（下部欠失）鳥取県東伯郡、倉吉村出土
石製 臼尾、鳥取県西伯郡幡郷村大字大殿字大吉福樹寺境内在、

未詳章と犬（マダ喰フテ見ナイ）

某兵と馬（馬ハ大好キ、一日ニ三百目位ハ食フ）

「発音の謎」

クレオ、パトラ	クレオパトラ
メソポタミア	メソポタミア
プエルト、リコ	ポルトリコ
リオ、デ、ラ、プラタ	リオデラプラタ
リオ、デ、ジャネイロ	リオデジャネイロ
ウラジオ、ウストック	ウラジオストック
タンガン、イカ	タンガニカ
タージ、マハール	タジマハル
?	

Copyright 日本建築学会

Gaurisankar (Evelest)	8.8840	Nepal (It.)
Godwin Austin	2.8619	Kashmir (Karacorum)
Kanchenjunga	3.8560	Nepal-Sikkim
Daulagiri	2.8176	Nepal
Gusherbrum	6.8035	Kashmir (Karac).
Gosan Tham	7.8018	Tibet
Nanga Parbat	5.8114	(Kashmir)

7000—8000 二十

合計 27座

田中 大年 久彦 来

因幡 日 倉 畑 情 拾 像 方

行 小 ノ 八 素 餃 直

[illegible]者 物語 石黒恵 生命の二つ、三つ 選ばれ 六朝は三国の頃です

主の田 [illegible] 廻れ右

方の人 一 白の襟飾

[illegible]国一 大礼服の南幸

田中総理 大礼服で自邸を

市村清治郎 [illegible]を固辞す

中村屋 [illegible]

[illegible]田 [illegible] 幕の者の敬礼

本多恒治郎 婚礼大金とラムネ

田中[illegible] 鳥肉？

[illegible]清 牛荘

[illegible]

[illegible]工博 日本の全建築をコンクリートに

同 メートルで中尺貫でも同じ

同 文博 度量衡法とは何

小倉 強 基礎は琉球の手前の人 [illegible]の手前か

関野博士の[illegible]院

[illegible]六 [illegible]

鍵[illegible]時代と十[illegible]

[illegible]コインの B.C.の銘

非代文書 毛筆で紙へ

本多鴻亮 犬はまだ[illegible]

Copyright 日本建築学会

赤坂(四八)の七六、有賀長文
麻布、飯倉片町三、

世田ヶ谷区
成城町三七九　長岡隆一郎
(十一月十四日五、三〇帝國ホテル
宴会場)

十月五日、年前九時、議院西北谷
七日午前一〇、三〇、二四番より後記式
世田ヶ谷区経堂町五一
神田区淡路町二丁目千三百弁護士
吉村順三　(三三)
昭治四十二年三月生
中野区本町通三丁目四十六番地　野沢弘延　(九五)
四十五年十月生
愛知県豊橋西大街九金方
後藤富一郎

奉天国立博物館
小林総治
奉天満日文化協会事務所
杉村勇造
関東軍経理部工務科
平野国夫

昭和	11.	10.	15(金)		美術学校
	11.	10.	20(月)	才三	高校
	11.	11.	12(月)	才一	高校
中野区	11.	10.	4(日)		仏教青年
	11.	10.	8,9,10		仙台高工
	11.	10	15		美術学校
	11.	0	28	才三	高校
鎌倉芸者	11.	0	27		明治座読
二四六	11.	0	29		美術学校
渋谷町	11.	0	12	才一	高校

Copyright 日本建築学会

自昭和九年
至昭和十九年

要領雑記

Copyright 日本建築学会

モルモット式（　　）

舊慣保存癖

沖縄の下女――ジン逆
東北の蒙床――シビ逆
東北人は寒冷に耐へ――ジン逆
四夜は燈を厭ふ民族――シビ逆
七月の旧暦に朝夕更衣は血――理
ことに子人を律するなかれ
迷信慣ハ改むべし、否ざるハ存続せしめよ
文化の利器と尾要するも、害あるは無し
家は家の古い様式で家風あり
東西の円満こそ必要の秘訣なり
時世を鑑して改むべきハ改めて可あり

Copyright 日本建築学会

○仏教

三国末より六朝唐の頃十三宗

涅槃、地論、摂論、成実、倶舎、律、三論、浄土、

禅、天台、華厳、法相、眞言

唐末以後 律、禅、浄土の三宗のみ残り、今は禅のみ盛る

禅は五派あり、

法眼、潙仰、臨済、雲門、曹洞

今混淆して区別不明

○喇嘛教

Copyright 日本建築学会

東京市日本橋區江戸橋二ノ八
松屋ビル
座右寶刊行會行

Copyright 日本建築学会